

編集後記の執筆で頭を悩ませていたとき、ふとある雑誌の編集者が頭に浮かんだ。その人とは、現在（平成28年度前期）放映されているNHKの連続テレビ小説「とと姉ちゃん」に登場する雑誌編集長の花山のモデルとなった花森安治（故人）である。花森は主人公のモデルである大橋鎮子とともに昭和23年に雑誌「美しい暮らしの手帖」を創刊し、昭和28年に「暮らしの手帖」に改められ、これは現在まで刊行が続いている著名雑誌である。

第二次世界大戦中、二人は国策策りの仕事に携わった。しかし、終戦後は二度と戦争を起さないと、には庶民の暮らしを豊かにすることが必要であるとし、大橋が庶民の助けとなる雑誌を作ろうと花森に声をかけた。そして花森が亡くなるまで大橋が社主、花森が編集長の仕事に徹した。花森の編集方針の最も顕著な特徴は広告を自社以外絶対には載せないことである。すなわちスポンサーは読者のみということである。それ故、広告主の

意向を反映することなく、自由に雑誌の編集が行える。ただ自由とはいえ、社会的責任を全うするために編集は慎重に進められてきた。「読者が雑誌を購入しなければ会社は必ずつぶれる」という心理的圧迫を受けながらも強気の編集方針により花森あるいは彼の後継編集者も理念がぶれることなく現在まで読者を獲得してきた。このことが、花森が天才編集者と呼ばれる所以である。ところでこのような編集・刊行形態は同志社をはじめ

めとする私学の設立・経営理念と共通するものがある。とはいえ、現在ほとんどの私学は学費のみで学校運営することは不可能であるが、今後も同志社の設立の理念が継続されなければならないと思う。

座談会に加わってくださった方々、講演してくださった方々、執筆してくださった多くの方々に紙面を借りてお礼申し上げます。

(吉門)

●同志社広報委員会小委員会委員

ABC順・○印委員長

- 大学グローバル地域文化学部教授 源馬 英人
- 幼稚園教諭 市瀬 ゆかり
- 大学心理学部准教授 石川 信一
- 大学広報部長 岩田 一番
- 中学校・高等学校事務長 鎌田 伸一
- 大学神学部准教授 勝又 悦子
- 国際中学校・高等学校事務長 貴志 浩行
- 女子大学広報部広報室広報課長 北村 博子
- 女子大学現代社会学部准教授 記村 虎子
- 大学生命医科学部准教授 小林 耕子
- 女子大学看護学部准教授 光木 幸子
- 大学広報部広報課長 中村 伸也
- 女子大学薬学部専任講師 成橋 和正
- 大学経済学部准教授 奥田 以由
- 大学文学部准教授 大沼 肇
- 女子大学表象文化学部教授 大田 根
- 大学政策学部教授 太田 聡
- 大学法学部教授 大矢 未
- 女子大学生活科学部准教授 齋藤 亮
- 小学校事務長 齋藤 輔子
- 女子大学学芸学部教授 椎名 裕一
- 大学グローバル・コミュニケーション学部助教 鈴木 美紀
- 法人事務部校友同窓課長 田中 隆秀
- 同志社国際学院事務長 山口 俊一
- 大学スポーツ健康科学部教授 田附 宏臣
- 大学文化情報学部准教授 津村 雅一
- 大学商学部准教授 内野 栄
- 香里中学校・高等学校事務長 内山 栄
- 女子中学校・高等学校事務長 植村 千亮
- 大学社会学部教授 吉田 亮
- 法人事務部長 吉田 由紀
- 大学理工学部教授 吉門 進三

●編集協力 アルカダッシュ

●同志社時報の申し込み

- ・送料(1冊分200円)のみのご負担でご購読いただけます。
- ・お申し込みは、綴じ込みハガキをご利用ください。
- ・宛先 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 同志社大学広報課

同志社時報 第142号
 編集人 吉門進三
 発行人 水谷 誠
 発行 学校法人同志社
 同志社大学広報課同志社時報係
 電話 (075) 251-3120
 印刷所 株式会社 石田大成社
 2016年10月1日発行